

「水道用鋼管技術相談集」WSP025-2015の改訂 「鋼管継手部の出来形チェックシート」について

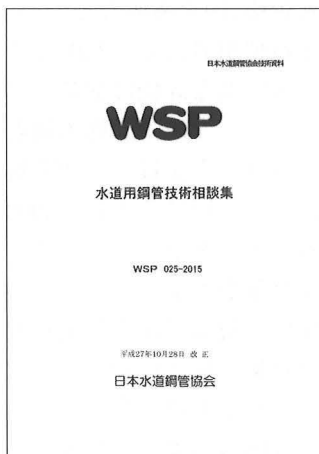
1 水道用鋼管技術相談集の改訂

当協会は、昭和42年1月に発足以来、水道用鋼管の技術基準・指針等の整備や技術説明会の実施などの活動を通じて、今日まで水道用鋼管の普及ならびに設計・施工・維持管理技術の向上に努めて参りました。

今回、WSP 025-2009「水道用鋼管技術相談集」を6年ぶりに改正しました。本書は協会の発足と同時に発刊して参りました当協会の機関誌「日本の水道鋼管」の創刊号から10号の各号に連載いたしました「鋼管技術相談」を、昭和45年の5月に初版として一括収録・再編集の上、発刊したものがその起源であります。

「水道用鋼管技術相談集」は、初版発刊以来、平成21年3月の第6版改正まで、鋼管技術の向上や規格・基準等の改正を踏まえ、時代の要求に即した形で内容の充実を図って参りましたが、今回はその7回目となります。

今回の第7版では、期待耐用年数100年の長寿命形水道用鋼管、断層横断部対策方法の断層用鋼管、非開削工法であるSDF工法といった時代のニーズに関する設問を掲載しております。また、平成26年のJIS規格改正に伴う防食関係の関連規格・基準改正や鋼を用いた水道施設の更新・更生に関するもの、および当協会が実施している「技術セミナー」でよく受けるご質問を反映させて設問・回答を見直しておりますので、是非ともご活用下さい。



2 鋼管継手部の出来形チェックシート

「鋼管継手部（溶接・塗覆装）の出来形チェックシート（溶接部、塗覆装部、フランジ継手部）」をホームページ（<http://www.wsp.gr.jp/>）に公開しました。

当協会では、これまで多くの施工指針を制定してきましたが、わかりやすい出来形管理表にまとめてほしいとの要望が寄せられていました。そこで、現場継手部に一般的に使用する溶接と塗覆装、並びにバルブとの接合などに必要なフランジ継手について標準的な出来形チェックシートを整備しました。また、出来形チェックシートの記入例も記載しています。

「チェックシート」

1. 現場継手部の溶接
 - ①-1：V形内開先
 - ①-2：X形開先
 - ①-3：V形外開先
 - ①-4：V形内開先（裏当溶接）
2. 現場継手部の塗覆装
 - ②-1：外面：ジョイントコート 内面：エポキシ樹脂塗装
 - ②-2：内面：エポキシ樹脂塗装（裏当溶接部）
 - ②-3：内面：エポキシ樹脂塗装（巻き込み鋼管 管軸方向塗装）
3. フランジ継手
 - ③-1：溝形フランジ（メタルタッチの場合）
 - ③-2：溝形フランジ（メタルタッチでない場合）
 - ③-3：太平面座フランジ